



今回の探検先は…

## K 川村義肢株式会社

<http://www.kawamura-gishi.co.jp>

1946年に創業以来、義肢装具のトップ企業として「顧客と社員のQuality of Lifeの向上」を理念に、義肢装具から生活サポート用品、福祉用品、住宅改修まで幅広いサービスを展開している。大阪府大東市にある本社には義肢装具・リハビリ機器の製造工場と、900点以上の福祉用具を展示したショールームがある。

●探検実施日:2010年4月6日(火)

### ◆◆◆働くってどんなこと？ 探検前に考えよう

今回探検する義肢・装具※づくりの仕事とはどのようなものだろうか。隊員として選ばれた14人の小学生で話し合ってみると、それぞれ



介護や福祉の仕事と関連づけ、興味や関心を持っているようだ。けれども働くことの具体的なイメージを尋ねると、「パソコンにとらめっこ」「疲れる」「お金を稼ぐため」といった答えが中心で、具体的にイメージできた子は少数だ。川村義肢で行われる仕事について、尋ねたい質問や、知りたいことを書き出してみる。そして子供達は本町にあるアイテムからバスで1時間、大阪府大東市にある川村義肢株式会社へやってきた。

※義肢/義足と義手の総称  
装具/ハンディのある体幹・四肢に装着する器具

### ◆◆◆働く人から話を聞いた 義肢・装具の仕事

見学の後には広い会議室で質疑応答。ここで子供達の前に登場したのは本社製造部 義肢課の神田さんと、車いす・姿勢保持課の小阪さんだ。次々と出てくる質問に、たとえ話を交えながら優しく答えてくれた。車いすの歴史や、工場では1日に20〜30人分の義肢・車いすを作っていること、また、義肢・装具づくりは1人で行うこともあれば3、4人で協力しながら作ることを教えてくれた。そして、仕事に就いて良かったことを尋ねると、「ハンディをもつて義肢を作りきたお客様に、でき上がった製品がピッタリ合うと、お客様は今までできなかったことがまたできるようになるんだ。そのとき言われる『ありがとう！』が一番うれしい」といふ答えが。子供達は、川村義肢で働く人がその仕事を誇りにしているのだと知った。

## 体験して納得、義肢と装具の大切さ 「ありがとう」の言葉が 仕事のやりがい

### ◆◆◆一人ひとりに合わせる義肢装具 仕上げに人の手は不可欠

マーケティング本部の黒鳥さんから義肢と装具、車いすについて話を聞いたあと、早速工場の中へ入って行く。まず通された3階では、オーダーメイドで義肢を作っていた。義肢や装具は体に密着するため、石膏で体の型を取って成型し、一人ひとりに合った、「ソケット」と呼ばれる人と義肢をつなぐ部品が作られる。加工には機械の力も借りるが、細かな手作業が欠かせない。川村義肢ではその技術に応用し、パラインビックなどで使用される競技用チェアスキーの部品も手がけているそうだ。樹脂や石膏、ゴムを型に塗る作業が行われている工場は、溶剤の匂いがツンとする。



### ◆◆◆お年寄りになると体はどうなる？ 補助具の使いかたを体験

最後は、営業本部の清水さんの案内でショールームへ。ここには電動の車いすやカート型のシテイウオーカー、体の不自由な人が使う補助具などがズラリと並んでいる。子供達はそれぞれの車いすに試乗してその乗り心地を確かめた。これらの乗り物は自転車と異なり歩道を走らせて良いものだ。一方、衝突事故を避けるために最高速度が時速6キロメートルと、法律で決められているそうだ。次に子供達は、お年寄りの体の動きを疑似体験。膝や首に装具を付けたとたん腰が曲り、歩く足が重く、おぼつかなくなる。杖をついて「歩けないよ〜」と言いながら一回りした子供達には、日常生活を支える補助具の大切さが十分に伝わったようだ。



また義肢を使う人や、足にハンディのある人が日常生活で困ることがないように、専用の靴も作られている。続く2階には様々な形の車いすが並んでいる。車いすも義肢と同じように、乗る人の好みや姿勢に合わせて修理と改造が行われているのだ。既製の車いすに固さの異なるクッションや、姿勢保持のための装置を取り付ける工程には、「現代の名工」に選ばれた職人も携わることがあるという。



### ◆◆◆初めて見たこと、知ったこと 仲間と一緒にまとめて発表

朝、集まったばかりのときは緊張していた子供達も、アイテムに帰ってくる頃には仲良くなり、活発な意見が出るようになる。まとめの時間では、2つのグループに分かれて見たこと、聞いたことの中から印象に残ったものを書き出し、それぞれにカラフルなシートを仕上げた。義肢装具と車いすづくりは想像していたより手作業が多かったこと、働く人の喜びなど、新たな発見や驚きをイラストも交えて発表した。子供達は川村義肢で働く人達を見て、仕事の大切さや真剣に向き合う姿を学んだようだ。



## 感想コーナー

- いろいろな車いすや義手、義足があった。歴史などがわかって良かった。
- 車いすは思ったよりも乗り心地が良かった。体験できて楽しかった!
- 機械で作っていたかと思っていただけ手作りで、最初にイメージしていたものと違って驚いた。
- 体の不自由な人が使うものの工夫がすごかった。



### 川村義肢株式会社 広報部 酒井深名さん

この度は、見学にお越しくださり、ありがとうございました。会社に入ってきた時には、元気な声で挨拶してくれ、私たちが説明している間もメモをとりながら、熱心に聞いていました。当社はオーダーメイドの製品が多く、職人による手作業が多いのが特徴ですが、興味深そうに見学していたことが印象的でした。こちらが予想もしていなかった質問や斬新な視点に、私たちもとても勉強になりました。

### ●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い

(株)アイテムでは、訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子供達が「仕事」について考える機会を一緒に提供していただませんか？

お問い合わせは  
「アイテムしごと探検隊」事務局まで ☎0120-938-989